

## ろくおん通信

第15号 1987.11.10発行

盲人情報文化センター

録音製作係

## 烏帽子岳～槍ヶ岳縦走記 (その2)

渡辺典子

## 烏帽子岳～三俣小屋へ

8月3日 標高2541mでの夜明けを迎える。四時近い、あちこちで荷物を纏める音がしている。懐中電灯の明りを頼りに身じまいして、小屋を出たのは、四時半。空気はひんやりして、露しとど、ウインドブレーカーを着て出る。明るさの増した道の両側には、ツガザクラ ヨツバシオガマ ミヤマキンバイ等々の花が一面に咲いている。歩くこと30分厚い雲海の広がりの方々に御来光の兆しが感じられる。横一直線に雲と空の交わる所の一点から光の矢が放たれたと見るまに、太陽の姿がその周囲に輝きの輪を広げながら現れて来る。雲の海はまるで金粉を撒いたように輝き、その色は刻々と変化していく。御来光に神秘を感じ祈った昔の人を思う。ヤッケを脱ぎ身軽になる。ハイマツ等植物の緑、土の茶色、雪溪の白さと、朝の光の中に色彩を鮮やかにしていく。ふと見ると、谷を隔てた向こうの山に今歩いている稜線がくっきりと映っている。しかも稜線を行く二人の姿も確認出来るのである。辺りの白い砂地には、コマクサが咲いている。この花はその美しさの所為か、ここに一つ、あそこの一つと、孤独でお澄

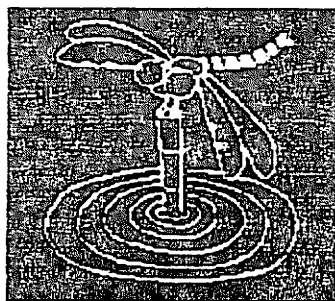
まししているように生えている。ぐるりと回ったら見えた、槍だ！ 一目でわかる一際鋭い山頂が遙か彼方に。本当にあそこまで辿り着けるのだろうかと思った。燕、大天井、槍と続く表銀座の稜線が見渡せる。三ツ岳(2844.6m)を経て野口五郎岳に向かう。雪溪で歯磨きしている若者に出会う。金を払った水は勿体なくてと、東北なまりの彼は言う。同じ様に歯を磨くが、雪溪から滴る生まれたばかりの水は、冷たくて口に含むと歯にしみる。その後彼はガイドの役を果たしてくれた。



北アルプスの山脈のずうーと向こう、山頂がかすかに見えるのが乗鞍、そのもっと向こう雲の様に見えるのが、御岳とのこと、となると去年の夏はあの山の上だった。岩場を歩きハイマツの根っこを跨ぎ、下りや平坦な道ではほっとしながらもようやく野口五郎岳(2977.7m)の山頂に辿り着く。彼の若者もずっと前に着いていた様子。水晶岳はエスケープコースを歩く。この山は名の如く山容と、岩のグレー、雪溪の白、植物の緑のコントラストが殊の外美しい。水晶小屋の雪溪で水の補給をして、お弁当を食べ元気を出す。水晶小屋を出てほんの僅か、ハイマツの生えている急斜面でクックッと、鋭い鳥の声、目を凝らすと雷鳥がいる。親鳥が警戒信号を送っているらしい。いるいる可愛い雛が。それにしても自然の妙と言うか、辺りの石ころと見分けの付かぬ色彩、動くのでやっとなんか識別出来る。鷲羽岳まではほんとにきつかった。見下せば千尋の谷なんてのはそこそこ、岩場に取り付いたのはいいが足が短くて次の岩が捜せない、それに今、手をかけている岩が何かの弾みでガタリと動きバランスを崩したら……なんて、くだらぬことが脳裏をよぎる。赤錆の吹き出た様な、おどろおどろした急坂があるかと思えば、緑豊かなお花畑が広がり、又しても雷鳥に出会えた。絶えず聞こえる黒部の源流の水音には励まされた。その源流の谷の遙か向こうに黒四ダムの先端が見える。やっと辿り着いた鷲羽岳(2824.2m)は賑やかだ。陽差しは強くても荷物を下ろした背を吹く風は心地良い。野口五郎岳の山頂でも見掛けた、滅法足の速い三人と、また一緒になった。キャンプしているらし

いこの人達の荷物は、私達の倍くらいもある。その荷から出したメロンを下さったのである。たっぷり甘い果汁は、今までに食べたどのメロンよりも美味しかった。重い物は一つでも持ちたくないと思うのに、ここまで背負って来た、貴重なその一切れ、夫と私は皮の際まで歯を立てて食べた。山ならこそ味わえる、人の情けとものの味である。さあ後は三俣山荘を目指して頑張らなくっちゃ。ハイマツの斜面の下に小屋が見えてきた。ところがなかなか道は捗らない。下りは靴の紐をしっかりと締めていても爪先が痛む。最後の力を振りしぼってと言えば大袈裟だが、ようやく辿りついたのはもう午後四時を過ぎていた。なんと約12時間の行動であった。ところがこの小屋の酷いことと言ったらない。狭い上に汚い、通路と何の区別もない床の上にマットレスと薄い布団、しかも一帖に二人で寝るのである。ああこんな所に眠らなきゃならないなんてと、思っていたのはほんの数分、又しても深いふかーい眠りにおちていった。

(つづく)



## 釧路各だより

釧路へ来て一年二カ月経ちました。音訳講習を卒業してわずか四カ月で思いもかけぬ早い転勤で、まだまだ勉強したいと思っておりましたのにとても残念でした。今文藝春秋の音訳をやっていますがアクセント辞典を片手に締切ぎりぎりまで悪戦苦闘をしています。

釧路はもう短い秋が終ろうとしています。北海道の中でも道東の釧路は特に気温が低いのです。冬が一番寒いときでマイナス20度位まで下がります。太平洋側に面していて雪は少ないのですが、道路はツルツルに凍りスベリ止めのついた靴でないと危なくて歩けない状態になります。頬にあたる風は冷たいのをとおこして痛い位です。外で深呼吸したら肺炎にでもなりそうな感じです。そのかわり家の中は非情に暖かく薄着で過ごせます。ふとんは夏用一枚で平気です。外は凍りつくような寒さで家の中はホッカホカの楽園というのはとてもリッチな気分です。暖房は九月の終わりから入っています。ふつう鍋物をいただくのは冬場と相場が決っていますが、ここは冬は暑くて汗だくになってしまうのでむしろ暖房の入る前の九月が鍋物の季節だ、などと冗談を言ったりしています。また真夏でもあまり気温が上がらずほとんど長袖で過ごしています。したがってクーラーをあまり見かけません。一年暮らしてみても最初の不安はどこへやら夏涼しく冬暖かく過ごせるのかかって本州より暮しやすいのではないかとさえ思うようになりました。

寺林 ひろみ

北海道はデッカイドーでほんとに雄大です。見渡すかぎり草原で建物一つなく他に何のさえぎるものもなく地平線が見られると言うのも北海道ならではの。また湖も多く湖面に映った山影はほかにたとえようもない程、美しいものです。季節ごとに景色が変化し何回見ても飽きません。摩周湖、阿寒湖、屈斜路湖、まだたくさんあります。

また感心するのはどんな人里離れた山の中でもちゃんと道路が舗装されていることです。美しい自然の中人っ子一人いない、車もめったに行き交わらないような道路をドライブする気分は最高です。私もとうとう車の免許をここで取ってしまいました。今まで免許なんて考えてみたこともなかったのですがこの道路を見て動かされました。見通しの良い道路を貸し切りのように走ることがよくありますが楽しみが倍になった感じです。

釧路と言えば鮭。ここで覚えたおいしい料理はイクラ丼、鮭の卵イクラをしょうゆ漬けにしてそれをごはんにつぶりかけ、のりをちらしていただきます。イクラは新鮮でなくてはならないので釧路にいる間しか食べられないと思わせっせといただいています。

そんなこんなでこちらの生活を色々楽しんでます。転勤もまた楽しいです。

(おわり)

## ボランティア友の会の意見を聞いて (その3)

【音訳関係】◎校正、編集で雑音があがるが (前号のつづき)

スタジオ外部の雑音対策については、次の方法が考えられます。

### 1. 休憩場所の移動

調査のためには現在の調査用資料のある位置が最適と思っています。これとは別に昼食、あるいは休憩のための場所を7階あるいはほかの階に求めることは、現在のICCBのスペースの状況からは100%無理です。(現在、製作された点字図書、録音図書を置くスペースすら不足する状態です)

### 2. スタジオと休憩場所の間を仕切る

まず費用の問題があります。物をおいて音を遮るだけでは、効果が期待できません。本格的に仕切りの壁を設ける必要があります。さらに、部屋として仕切られるために別途に排気設備も設ける必要が生じてきます。このため百数十万円程度の費用の捻出が必要となります。

### 3. ドアの改良

特に1~4スタの部屋の遮音が悪いので

すが、このドアの改良のためには、ドアのノブの交換が必要で、ノブを交換するとドアの強度に問題があり、ドアのワクとドアを併せて交換する必要があります。現在のドアは一枚あたり10数万円程度の費用がかかっていますが、これを全面改修すると工事費を合わせ100万円程度の費用を必要とします。

### 4. 昼食時間を決める

午前だけの活動で帰られる方にとっては、昼食の時間帯も録音したい時間です。活動の開始時間から考え、12時までというのは本人にとっては“せっかく来たのに…”という中途半端な時間となります。

### 5. 互いに注意する

これが結論になります。現在とれる最良の方法として、録音の支障にならないように各自注意する気持ちを常に持つことが必要なのではないのでしょうか。

最近の校正表より (その5) ~あなたもこんな誤りをなさっていませんか~

語句	誤	正
射殺し	うちころし	いころし
夜気	よき	やき
大書する	おおがきする	たいしょする
微かに	わずかに	かすかに
糾弾	きょうだん	きゅうだん
合従連衡	ごうじゅうれんごう	がっしょうれんごう
忽ち	ただち	たちまち

※お詫びとお願い

相殺について (1987年10月号掲載)

一般的な用例としては、「賃金と以前の借金とを相殺する」で、よみは「そうさい」。

「そうさつ」は誤読です。しかし、小学館の『日本国語大辞典』には「そうさつ」という読みが項目としてあがっています。

お詫びし、訂正いたします。ご指摘くださいました古跡さんありがとうございます。

もう一つ校正ミスがありました。

(誤) 声音 こえだか こわだか

(正) 声高 こえだか こわだか

毎月、大慌てで校正をしまして誤り等々があるかと思いますが、ごめんでもお教え下さい。

そうさつ「ヤツ」：「相殺」【名】①互いに殺し合うこと。  
 ・説小に「いもうと・室生犀星」その腹からのぼる鬼気  
 と相殺のいんさんたる光は」・黄帝内経素問「脈要精  
 微論「陰陽俱盛、則夢相殺毀傷」②二つのものが観  
 合して互いにその持味や特色を消滅してしまうこと。  
 ・哲学字彙「Neutralization 相殺、相互毀力」・善心思  
 心「里見尊」小説的効果を互に相殺(サウサツ)する  
 この二つの事実も、そのまま事実として止め置くよ  
 り仕方がない」③「そうさい(相殺)。(開国ソ  
 サン會)の(金)の(回)

うっかりミスコーナー

語句	誤	正
節儉	せつやく	せつけん
実在	そんざい	じつざい
実際	とつぜん	じつさい
葡萄棚	ぶどうばたけ	ぶどうだな
言葉もかけず	こえもかけず	ことば…
矢来町	やぎちょう	やらいちょう
惜しがった	くやしがった	おしがった
野暮人	やばんじん	やぼびと
涙を堪えた	…たえた	…こらえた
高足駄	たかげた	たかあしだ
美男	びだん	びなん
妨げて	ふせげて	さまたげて
新喜劇	しんげき	しんきげき
常置	じょうせつ	じょうち
男気	ゆうき	おとこぎ
以後	いこう	いご
転変	てんへん	てんぺん

金川路だより

----- お知らせ -----

☆12月23日(水)は日本ライトハウス職員研修会のため全館休館させていただきます。

----- 報告 -----

☆第4回音訳技術研究会(月例)の報告

今回は、例文を実際に読みながら、注記号類、数式、などの処理の方法について考えていきました。処理の方法は、常に決まったものではありません。一つひとつの本に最も適した処理の方法を常に考えていく必要があります。基本的なものはレコーディング・マニュアルの第7章の「処理」の項に書いてありますので参考にしてください。

☆11月音訳技術研究会のお知らせ

日時：11月18日(水) 13:00~15:00

場所：6F ボランティア・ルーム

テーマ：①録音テープを聴きながら「処理」と音訳テクニックについて考える。

②リクエスト図書製作の事務連絡

----- お願い -----

☆来館時には必ずハンガーホルダーを見てください。

来館される方にお渡しする「ろくおん通信」や「ワグック ワライク」などは来館される方のハンガーホルダーに入れてありますが、10月号は半数が残ってしまいました。「ろくおん通信」などに限らず音訳者や校正者からの連絡なども入っています。来館時には必ずご自分のハンガーホルダーを確認するようにしてください。

☆カセットテープを使つての録音は、最後の1分間は録音しない。

カセットテープに最後まで録音されますと、コピーのときに全部コピーできないことがあります。

A面の録音を終るときには必ず1分以上録音しない部分(空白)を残して下さい。もちろんB面の録音の開始はA面の録音が終った位置です。(清水)

☆スタジオのヘッドホンについて

スタジオのヘッドホンに破損した物が始めています。今年になって交換したばかりですが、軽量タイプのもので、コード自体も細いものが使われています。今年度は購入費も修理のための予算もありません。コードを引っかけたり、ねじったりしないように大切にしてください。

☆12月個人ケアの予定

12. 1 (火) 13:30~
12. 8 (火) 13:30~
12. 9 (水) 13:30~水曜月例会
12.12 (土) 13:30~
12.15 (火) 13:30~
12.22 (火) 13:30~火曜月例会

☆原本の著者への問い合わせには注意!

原本の内容に対する問い合わせは、著作権などのからみもあり、後々問題となることがあります。個人の判断で問い合わせをするのはやめて必ず職員に相談して下さい。